

ひょうご産官学連携協議会『2022年度第1回活動報告会』報告書

【開催概要】

主 催：一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

日 時：2022年10月25日（火）16：00－16：33

方 法：オンライン（ZOOM）

概 要：ひょうご産官学連携協議会の概要と事業活動報告

目 的：ひょうご産官学連携協議会の活動を広く地域の団体や、地域住民に周知し、地域社会からの理解を得ることで、今後地域社会と一体となった取り組みを拡大するきっかけとする。

次 第：

	内容	担当	時間
1	開会・次第紹介	事務局：山本	1分
2	2022年度事業報告	事務局：小畑	20分
3	コンソ活動への意見、今後の期待など	兵庫県中小企業家同友会 内橋様 兵庫県中小企業団体中央 内田事務局長 兵庫県商工会連合会 山本主事 兵庫大学 吉田課長	10分
4	リカレントフォーラム2022 開催案内	事務局：中水	1分
5	閉会	事務局：山本	1分

参加者数：38名（兵庫県内34名、県外4名）

主な参加機関、団体

行 政(1)：兵庫県総務部教育課(1)

地域団体(4)：公益財団法人兵庫県国際交流協会(1)、国際協力機構関西センター(1)

公益社団法人神戸国際コミュニティセンター(1)、

独立行政法人国際協力機構 関西国際センター(1)

産 業 界(4)：神戸商工会議所(1)、兵庫県商工会連合会(1)、兵庫県中小企業家同友会(1)

兵庫県中小企業団体中央会(1)

大 学(27)：加盟校21校23名、県外4校4名

そ の 他 (2)：地域住民

※事務局6名

<主な意見等>

(1)産業界（兵庫県中小企業同友会）

2017年の日経新聞に掲載された、アメリカのギャラップ社による調査によると、日本は仕事に対して愛着心をもっていると答えた割合が全体の6%と、調査対象である139カ国中132カ国と低い。一方、OECDによる調査では日本人の基礎学力はまだまだ高い水準である。

京セラ株式会社の故 稲盛和夫氏の「仕事は『考え方×熱意×能力』である」の言葉の通り、リカレント教育には「考え方」「熱意」の向上も重要である。

リカレント教育を企画する講師や大学には、熱意を持って取り組み、正しい考え方を持った上で受講者に対して講義を行うことをお願いしたい。

(2)産業界（兵庫県中小企業団体中央会）

コロナ禍の影響、DX やリカレント教育が重要性を増している中、大学の知見を企業に提供頂ける事は重要であると考えます。大学には、知識を得たい就労者に対して、学びの機会を与えるリカレント教育への取組を今後も続けて頂きたい。

(3)産業界（兵庫県商工会連合会）

中小規模事業者に関しては恒久的な人員不足の中、コロナ禍のダメージが重なる現状で、リカレント教育に人員や資金を投入するのは難しいと思われるが、県や大学からリカレント教育に対する周知依頼があれば、県下28の商工会に社内ネットワークを通じて周知させて頂くので、中小規模事業者が現状の経営課題と向き合いながらも、リカレント教育に踏み切れる様な情報があれば共有頂きたい。

(4)大学（兵庫大学）

リカレント教育としては、看護師、介護士、医師を対象にした講義、最近ではデータサイエンスをテーマにした講義を地域の方々を含め幅広い層を対象に行っている。

大学としては、幅広い分野の教員が在籍しているが、リカレント教育に熱意のある層に対して、どのように情報提供をすればよいのかが課題であるため、今後産業界との連携していき、学びの場を提供していきたい。

【所感】

地域に向けての報告会を開催し、県内外38名の参加があった。報告会を通して活動を理解して貰えたことは成果であった。行政、地域団体、産業界、県内外の大学、地域住民の方々にご参加を頂き、活動を広範囲に紹介でき、意見交換の場を持てたことは有意義であった。

今後も引き続き、産官学、地域の方々と連携し、貴重な意見を頂き、活動の更なる強化に取り組んで行きたい。